

Rock, Paper, Scissors | 石 | 紙 | 鋏 |

シンディー望月展

〈Rock, Paper, Scissors/石 紙 鋏〉は、2014年・2016年にAIR475(エアヨナゴ)のレジデンスで米子に滞在し作品を制作した日系カナダ人アーティスト、シンディー望月が歴史的な史実とフィクションを織り交ぜて制作したマルチメディア・インスタレーションです。鳥取県米子市と島根県安来市との間にある汽水湖、中海に浮かぶ無人島・萱島に戦前にあった謎の料亭「たつみ」と、20世紀初頭に弓ヶ浜からカナダに渡った開拓移民や、彼らがカナダで従事した炭鉱業(石)、木材業(紙)、鉄鋼業(鋏)などをテーマに、来館者は劇場のように組み立てられた室内で、ラジオドラマ、ビデオ、アニメーションなどから成る3つの短編の物語を体感してゆきます。主人公Kの声に導かれ、観客は、海を隔てたカナダと日本を舞台に、1900年から2100年までの3世紀にまたがって時空を超えて展開する不思議な物語の世界へといざなわれます。作品展示と併せて第5展示室は、作品制作のプロセスや、米子・境港・安来などでの調査資料、日系博物館から借用した日本の移民にまつわる貴重な写真・映像資料などのアーカイブ展示や、地域の方々とのパブリックプログラムを通じて、作品が生まれた背景や、それぞれの土地に生きてきた人々の生活の変遷を共有できる場になります。

この作品は、「鳥取藝住祭(2014-2015)」の参加プロジェクトとして2014年に望月が米子市で制作・発表した「Paper/紙」に、その後のカナダにおけるリサーチや2016年の米子再訪調査をもとに創られた「Rock/石」と「Scissors/鋏」の章が加わり、3部作として2017年春にカナダの日系博物館・文化センター(Nikkei National Museum & Cultural Centre)にて展示・発表されました。本展は4年の月日を経て、作品が生まれた米子での帰国巡回展示になります。



Cindy Mochizuki, Paper/紙



遊覧船ツアー (2014)



中海に浮かぶ無人島「萱島」。戦前に料亭「たつみ」が存在した。



萱島に上陸し調査するシンディー望月 (2016)

【パブリックプログラム】 ※全て参加無料

アーティスト&キュレーターによるガイドトーク

2月25日(日) 14:30-16:00 第3・第5展示室
ガイド | シンディー望月(本展アーティスト) 原万希子(本展キュレーター)

シンポジウム

「海を越えてカナダと繋がる山陰地方の歴史と風土を巡って」

3月3日(土) 14:30-17:30 第1展示室
モデレーター | 原万希子(本展キュレーター)
登壇者 | アレクサンダー・ギンナン(鳥取大学 地域学部国際地域文化コース助教)
河原典史(立命館大学 文学部地理学教室教授)
シンディー望月(本展アーティスト)

米子の記憶を語り聴く会「中海と弓ヶ浜半島の昔ばなし」

3月4日(日) 11:00-12:00 第5展示室
ゲスト | 笹鹿克美(笹鹿印房店主) 住田清三郎(わらい通り協議会会長)

見える人と見えない人が一緒に楽しむ鑑賞ワークショップ

3月10日(土) 14:30-16:00 第3・第5展示室
ゲスト | 広瀬浩二郎(国立民族学博物館グローバル現象研究部准教授)
共催 | わらべ館(公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館)

※その他、AIR475スタッフによるギャラリートークを予定。
詳細日時は米子市美術館ホームページやAIR475のFacebookでご案内します。



米子の子どもたちが描いた巨人たち。Scissorsの章に登場する (2016)



料亭「たつみ」の広告。『米子商工業内』(昭和9年、米子商工会議所発行、米子市立図書館蔵)より



シンディー望月, Rock, Paper, Scissors/石紙鋏, 2017(林業に携わる移民をアニメーションで表現。Paperの章では、実在した米子市からの移民で、カナダのメイン島の森林を買い取り、林業、材木業で成功を取った磯島という男性が、故郷から彼に続く多くの移民を呼び寄せるために送った、「呼び寄せの手紙」が物語に登場する。



撮影 | Adam Blasberg

シンディー・望月 | Cindy Mochizuki

アーティスト

カナダ、バンクーバー在住。インスタレーション、パフォーマンス、アニメーション、ドローイング等を複数組み合わせたジャンル横断的な作品を制作。実在する場所や人の記憶と、実験的な物語性の構造を追求する彼女の作品は、しばしばフィクションとドキュメンタリーの間位置付けられる。日本での展示は、鳥取藝住祭AIR475(2014, 米子)、黄金町バザール-仮想のコミュニティ・アジア(2014, 横浜)、AIR475(2016, 米子)、大山アニメーションプロジェクト(2017)などのレジデンスプログラム参加や、若山美術館での個展(105本の菊の花)(2016, 東京)など。サイモン・フレーザー大学大学院修了、2015年には映像アート&ニューメディア部門でのバンクーバー市長アート賞を受賞。
cindy mochizuki.com

原万希子 | Makiko Hara

キュレーター

カナダ、バンクーバー在住。2007年に国際現代アジアアートセンター、Centre Aのチーフキュレーター就任を機にカナダに移住、2013年に独立。90年代よりカナダとアジアを繋ぐアートプロジェクトを数多く手がける。最近の主な業績は、スコシアバンク・ヌイ・ブロンシュ(2009, トロント)、鳥取藝住祭AIR475(2014-2015, 米子)、黄金町バザール-仮想のコミュニティ・アジア(2014, 横浜)、マッシュアップ:近代文化の誕生展(バンクーバー・アート・ギャラリー、2016)、AIR475(2016, 米子)、105本の菊の花(若山美術館, 2016, 東京)など。2017年より秋田公立美術大学国際交流センターアードバイザーに就任。

AIR475 (エアヨナゴ)

オーガナイザー

鳥取県米子市を拠点として県外や国外から招いたキュレーター、アーティストとともに、作品制作やアートプロジェクトを実施している。この地域における資源をアーティストの視点から発掘し活用していくことで、地域におけるアートへの理解を深め、地域の活性化に寄与することを目的とする。

昭和初期から昭和10年代ごろの戦前の記憶を集めています。当時の様子が分かる写真や日記、映像などの資料をお持ちの方はぜひご連絡をお寄せください。090-2409-7984 (水田)

【お問合せ】

AIR475事務局

Tel.090-2409-7984 (水田)
〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎9-21-22 (クルマナオキ建築設計事務所)
Fax.0859-24-1945 E-mail. info@air475.com
Facebook | <https://www.facebook.com/air475/>

米子市美術館

〒683-0822 鳥取県米子市中町12番地
Tel.0859-34-2424
<http://www.yonagobunka.net/y-moa/>

【交通のご案内】

●JRご利用の場合:
JR米子駅から約1,000m
JR米子駅前から各方面行きバス(除/松江方面)市役所前下車(所要時間約5分)

●お車の場合:
米子自動車道・米子インターから約20分
米子市役所有料駐車場をご利用ください。
美術館ご利用の方は駐車券を受付までお持ちください。2時間以内は無料となります。
※当館横に身体障がい者用2台、ハートフル駐車場2台を用意しています。

